

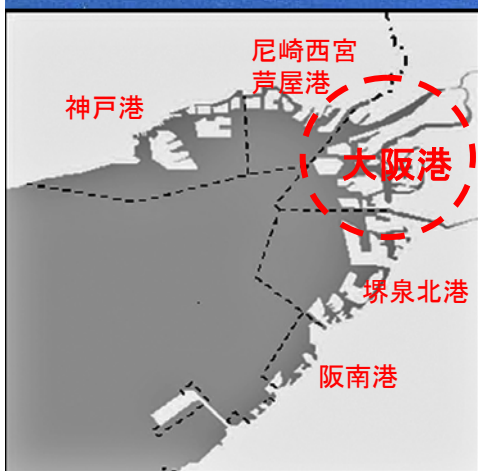
大阪港港湾計画-改訂-

平成18年11月30日

交通政策審議会

第20回港湾分科会

資料2-1



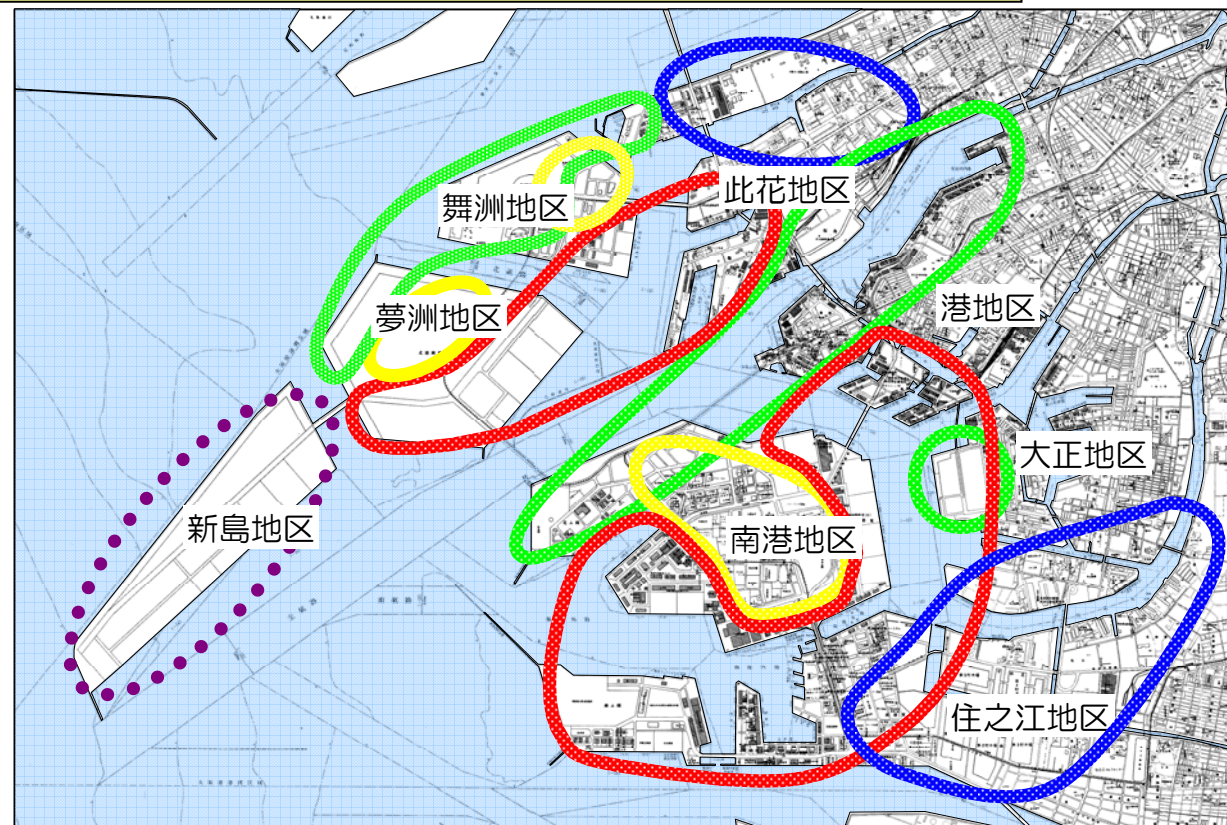
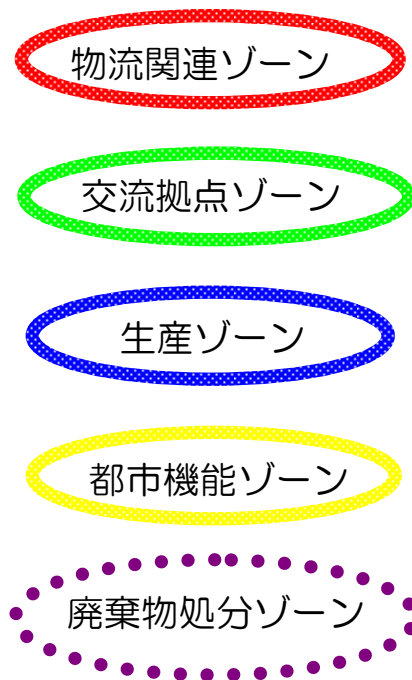
港湾計画の方針

【物流】：国際競争力の強化と港湾機能の再編・集約

【交流】：観光交流の場としての魅力向上と臨海地域の活性化

【環境】：港湾環境及び都市環境の保全

【安全】：防災機能の充実



【物流】 ～コンテナバースの再編～

<課題>

○一層の国際競争力の強化、物流の効率化

<対応>

○南港・夢洲地区の外貿コンテナ埠頭の再編・集約

○R岸壁はフェリー埠頭へ利用転換

○C6、7は一般貨物埠頭へ利用転換

スーパー中枢港湾



夢洲地区コンテナ埠頭

(C10~12: 水深15~16m + YC: 水深12m)

全長1,350mの連続バース

[YC] 水深12m岸壁1B延長250m

一般貨物→コンテナ埠頭 (今回計画)

[R2~5] コンテナ埠頭 → フェリー埠頭へ

(水深10~12m) → 水深7.5m×4B

— 利用転換、再編を計画する岸壁

— 廃止を計画する岸壁

..... 既定計画を削除する岸壁

— 既定計画の岸壁

— 既設の岸壁

[C6,7] コンテナ埠頭→一般貨物埠頭へ

(水深12m×2B)

南港地区
コンテナ埠頭
(C8,9: 水深14m)
(C1~4: 水深13m)

コンテナ再編・集約

南港

夢洲

【物流】 ～フェリーバースの再編～

<課題>

○フェリーの大型化・RORO船貨物増大など新たな需要への対応

<対応>

○フェリー埠頭を再編、一部はRORO船対応埠頭へ

○既存外貨埠頭を大型フェリー受入可能なフェリー埠頭に転換

- 利用転換、再編を計画する岸壁
- 廃止を計画する岸壁
- 既定計画を削除する岸壁
- 既定計画の岸壁
- 既設の岸壁



南港フェリー埠頭

[F3～5] フェリー埠頭の増深・延伸

フェリー6B→水深7.5m×3B

[R2～5] フェリー埠頭へ利用転換

水深7.5m岸壁 4B 延長850m

効率的な運営を特に促進



南港かもめフェリー埠頭

[F7、F8] RoRo埠頭へ

水深9m 1B、水深7.5m 1B

[R1] RoRo埠頭

水深7.5m 1B

一部

【交流】 ～観光交流の場としての魅力向上と臨海地域の活性化～

<課題>

- 快適で魅力ある水辺空間の創出
- 大阪港の立地特性を活用したクルーズ拠点としての充実
- 臨海地域の活性化

<対応>

- 旅客船埠頭の再編・集約
- 集客施設を結ぶ海上交通ネットワークの拡充など、観光交流拠点としての魅力向上
- 在来臨海部での再開発の推進
- 臨港地区を見直し、臨海地域の活性化を促進



【環境】

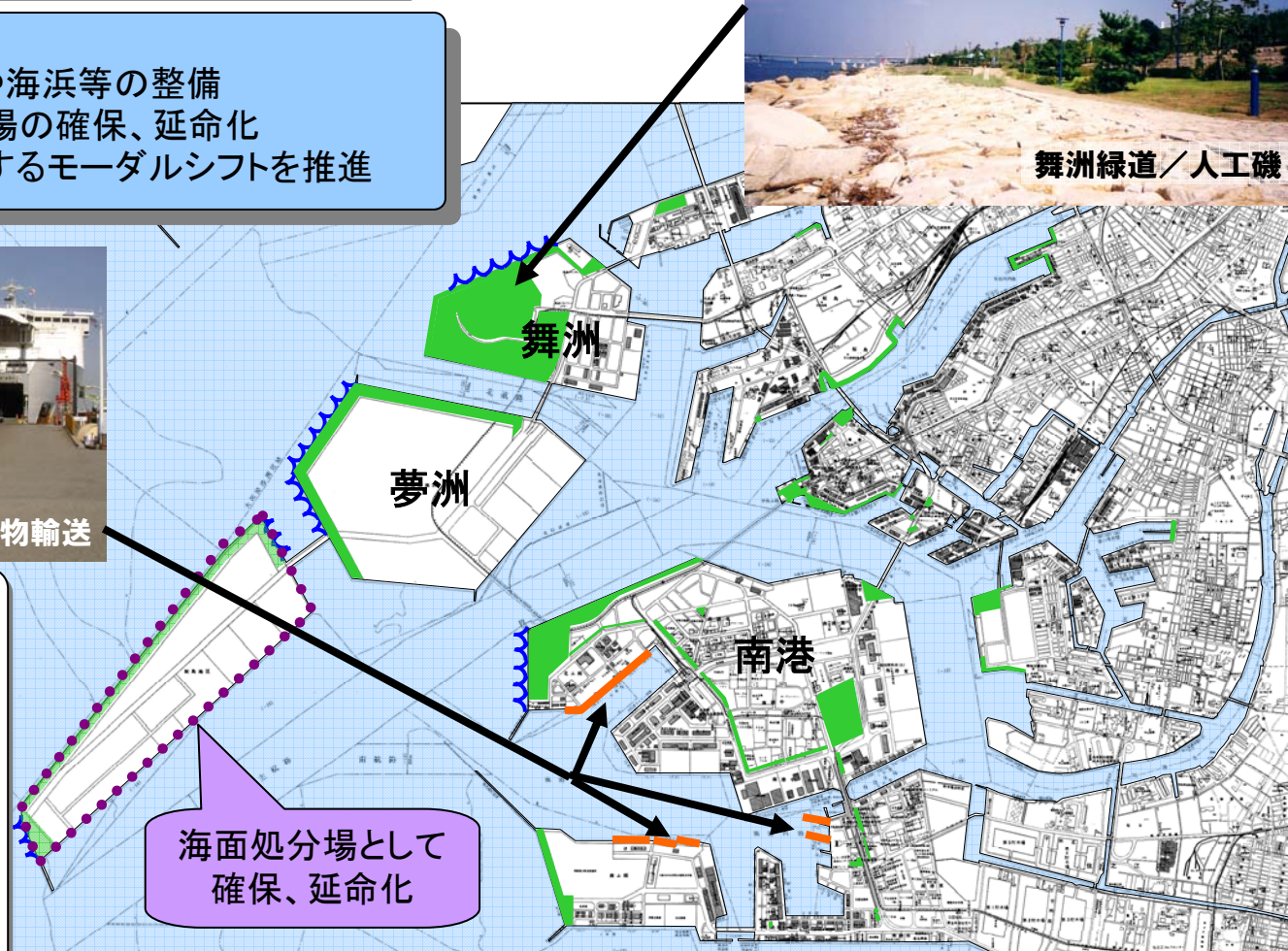
～港湾環境及び都市環境の保全～

<課題>

- 良好な港湾環境及び都市環境の保全
- 環境負荷の低減

<対応>

- 市民が親しめる緑地や海浜等の整備
- 廃棄物等の海面処分場の確保、延命化
- 環境負荷の低減に資するモーダルシフトを推進



●環境の創出

- 緑地・公園(計画含む)
- 〰 海浜(計画含む)

●モーダルシフトの推進

- フェリー埠頭・RORO船埠頭(計画含む)

海面処分場として確保、延命化

【安全】

～防災機能の充実～

<課題>

○大規模地震等への対策

<対応>

○物資の緊急輸送及び国際海上コンテナ物流機能維持に供する耐震強化岸壁、オープンスペース等の確保

●耐震強化岸壁

緊急物資対応(13バース)

今回計画 ●

既定計画 ●

既設 ●

コンテナ対応(4バース)

既定計画 ■

既設 ■

●オープンスペース

臨港緑地(計画含む) ■

●緊急交通路

緊急交通路(地域防災計画)

(計画含む) —

アクセス道路(計画含む) - - -

[コンテナ] 水深15m 1B (改良)

水深 7.5m 3B (新設)

水深 10m 1B
160m(改良)

水深7.5m 1B (改良)

水深7.5m 1B (改良)

水深 9m 1B (改良)

